

【普及指導課題への反映状況等】

北部農と緑の総合事務所

■新規就農者の確保・育成に向けて、就農者数や販売金額目標を設定し、その達成に向けて引き続き大阪産アカデミーの実施と併せて就農希望に応じた助言・指導を行う。

■新規就農者が早期に経営安定化を図ることができるよう営農計画の作成と併せて、各人の栽培や農業経営の技術レベルに応じた指導を行うほか、市町等関係機関と連携し補助事業や融資等の支援を行う。

■栽培技術の向上や販路確保の参考となる管内の経営事例を示すとともに、「農の匠」等地域農業者による現地実習受入れの機会をつくるなど新規就農者の定着を図る。

中部農と緑の総合事務所

■枚方市ではR5大阪産(もん)スタートアカデミーの修了生対象に有機農産物についてのフォローアップ研修を実施するとともに、前年度の課題改善のため内容を拡充した市主催の「ひらかたアカデミー」を支援する。

■今後、収益性の高い品目の選定や、有機志向の生産者のグループ化による有利販売について検討する。

■地域計画等を通じて、市や関係団体と連携を一層図るとともに、枚方市や八尾市の取り組みを他の地域に情報提供していく。

南河内農と緑の総合事務所

■当課では、新規就農者の確保・育成に加え、経営スキルの向上やスマート農業技術による効率化など地域や農業者の課題に応じた普及活動を計画的に取り組んでいるところ。それらと連動させながら、新規就農に対する取組みをさらに充実させる。

■新規就農者の販路については、市場等へのニーズ調査やいちごの取引を希望する事業者とのマッチングなどにより販路拡大を図るとともに、PRや新たな需要増等により、目標とする販売額の達成を目指す。

■ぶどうやなす・きゅうり産地も含む新規就農者については、経営の安定化が共通の課題であり、市町村・JAや各地域の農業者などの関係者等と連携して、栽培技術や経営等の指導を行うことにより、彼らが早期に農業の担い手となることができるよう支援する。

泉州農と緑の総合事務所

■新たな担い手の確保・育成について、継続した事業実施をする上で指導者の確保が重要となっていることから、指導農業者へのヒアリングなどから指導側の課題や要望を抽出する。

■指導農業者には、アカデミー受講者の就農に向けた農地確保のサポートや栽培技術指導等を実施していただいているが、指導農業者の負担も大きい。修了後のアフターフォローについても、支援を検討する。